

## 文部科学省職業実践力育成プログラム（BP）の認知症看護エキスパート 養成プログラム

広島文化学園大学大学院看護学研究科

讃井真理 佐々木秀美 河野保子 山内京子 加藤重子  
森田克也 前信由美 岡田雅之 瀬川英治 丹羽貴志

平成 28 年度文部科学省職業実践力育成プログラム（BP）において、本研究科から申請した「認知症看護エキスパート養成プログラム」が履修証明プログラムとして認定された。

|      |   |
|------|---|
| 課程名  | 認知症看護エキスパート養成プログラム  |
| 課程内容 | 認知症看護の実践力育成のための 7 科目、150 時間のプログラムで構成<br>科目名 1.高齢者の人体構造機能（フィジカルアセスメント）<br>2.認知症の病態と認知症の診断と治療<br>3.認知症看護概論<br>4.認知機能とアセスメント<br>5.認知症の看護各論 1（コミュニケーション）<br>6.認知症の看護各論 2（ケアマネジメント）<br>7.認知症看護実習 |
| 受講定員 | 20 名  |
| 対象   | 看護師資格を有し就業している者、あるいは、<br>修了後に就業の意思のある潜在看護師  |
| 日時   | 平成 29 年 5 月開講予定 年度中に修了認定  |
| 場所   | 本学阿賀キャンパス、及び実習施設  |

### 1. 趣旨

職業実践力育成プログラム（BP）は、「学び続ける」社会、全員参加型社会、地方創生を実現する教育の在り方について（第六次提言）」（平成 27 年 3 月）を受けて、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定する制度である。そのことにより 1. 社会人の学び直す選択肢の可視化、2. 大学等におけるプログラムの魅力向上、3. 企業等の理解増進を図り、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携し、社会人の学び直しを推進しようとするものである。

現在、高齢者数の増加に伴い認知症者の増加が予測されている。呉市は全国と比しても高い高齢化率を示す市町である。当然、看護師は入院・入所・在宅療養などの様々な場面で認知症者のケアを提供することが増える。地域においては認知症サポーター養成が行われ、呉市には 12,000 名を超える支援者が存在している。しかし、認知症は進行性の疾患であり、専門職であっても対応が困難なケースも存在する。そのため、認知症者とその家族に対し、適切であり、

より有効なコミュニケーション能力、アセスメント能力、ケア実践能力、及び倫理的判断能力を含め、日常生活継続に向けたケア技術を持つ人材が求められる。そして、あらゆる健康段階にあわせた適切なケアを提供できる看護師の存在が重要である。そこで、本学では認知症者に対するより高度な専門的、実践的能力を育成する教育プログラムを展開し、実践現場の認知症者ケアの質向上と、あわせて高齢者福祉に貢献することのできる人材の育成を目指し、履修証明プログラムとして申請した。

職業実践力育成プログラム(BP)のうち、専門実践教育訓練として厚生労働大臣の指定を受けた講座は、以下の制度を利用することができます。

**社会人のみなさま**  
社会人の費用負担がない場合

～専門実践教育訓練給付金の支給～

- 在職中又は離職後1年以内(出産・育児等で対象期間が延長された場合は最大4年以内)の方が、専門実践教育訓練を受ける場合に、訓練費用の一定割合を支給します。
- また、専門実践教育訓練を受講する45歳未満の職員のうち、基本手当日額の50%を訓練受講中に2か月間に支給します(平成30年度まで)。

※給付対象となるためには、雇用関係への加入期間が10年以上(前回の場合は2年以上)である必要があります(過去に給付を受けなかった場合は、その後の受講開始日の前日開始日とさせていただきます)。

※給付期間

- 受講費用の40%(上限年額32万円)を6ヵ月間に支給します。
- さらに、訓練終了後1年以内に資格取得等し、雇用関係が一途継続後として勤務した場合は、支給対象期間を延長して支給します(支給率の50%と上限年額16万円)を追加して支給します。

※給付金は専ら受講費用の支払いにのみ使われ、他に使えません。

**企業のみみなさま**  
社会人の費用負担がある場合

～キャリア形成促進助成金/キャリアアップ助成金の支給～

- 従業員に専門実践教育訓練を受講させたい企業を支援する際に、キャリア形成促進助成金/キャリアアップ助成金により訓練経費や訓練期間中の賃金の一部について助成が受けられます。

※年齢・職種等

- キャリア形成促進助成金中長期キャリア形成コース(対象年齢:20歳以上39歳未満)  
経費助成:1/2(1/3)  
賃金助成:300円(400円)(1人1時間あたり)
- キャリアアップ助成金中長期キャリア形成訓練(対象者:長期間の労働者等)  
経費助成:訓練時間に応じ15～50万円(10～30万円)  
賃金助成:300円(500円)(1人1時間あたり)

※年齢は就業開始日  
※経費は就業開始日の前日開始日とさせていただきます。

**社会人のスキルアップを応援します**

文部科学省では大学・大学院・短期大学・高等専門学校における学び直しを推進しています



**Brush up Program(BP)**  
for professional

～職業実践力育成プログラム～

文部科学省 文部科学省 職業実践力育成プログラム

**条件該当者確認先**

- 文部科学省
  - 職業実践力育成プログラム(BP)認定制度について
    - 職業実践力育成プログラム(BP)認定制度について
      - 職業実践力育成プログラム(BP)認定制度について
        - 職業実践力育成プログラム(BP)認定制度について

「職業実践力育成プログラム」(BP)とは…?

大学、大学院、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)における社会人や企業等のニーズに応じた、主に社会人を対象とした実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定します。平成27年7月に制度を創設し、毎年新たなプログラムが増えていきます。

BPの特長

1. 対象とする職業の機軸及び修得可能な能力を具体的に明確に設定しています
2. 関連分野の企業等の意見を取り入れ、対象とする職業に必要な実践・専門に関する知識、技術及び技能を修得できるカリキュラムとなっています
3. 主に実務家教員や関連企業等と連携した授業やグループ討論、フィールドワーク等の科目で構成されており、実践的・専門的な授業が受けられます
4. 新卒者のキャリアアップの状況や修得した能力等の成果を公表します
5. 社会人が受講しやすい環境を整備しています(夜間・夜間研修、集中研修、IT活用等)

社会人や企業等にとってこんなメリットがあります

1. 体系立てられた大学等のプログラムを学ぶことで、企業等の意見を取り入れたキャリアアッププログラムとつながり、企業等のニーズに応じた実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につけることができます
2. 企業等の意見を取り入れたキャリアアッププログラムとつながり、企業等のニーズに応じた実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につけることができます
3. 教育訓練給付金やキャリア形成促進助成金を活用することにより、受講料の一部を支給・助成することができます(詳しくは募集要項)
4. 若い高いモチベーションを持つ社会人学生と交流することにより、受講生とつながり、企業等のニーズに応じた実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につけることができます
5. 週末・夜間研修、集中研修、社会人の受講に配慮したプログラムのため、働きながら受講することもできます

特色ある各大学のプログラムの例

※これらのプログラムも含め、平成27年12月に初回認定として123課程を認定しました。

**岩手大学「いわてアグリフロンティアスクール」**

目的: 食料・農業・環境分野の最先端技術や知識を習得し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

特徴: 実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

**慶応義塾大学大学院「ビジネス実践研究センター」**

目的: ビジネス実践研究センターを拠点として、社会人学生が実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

特徴: 実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

**大阪大学「バイオイノベーションイノベーション高等専門学校教育研究訓練プログラム」**

目的: バイオイノベーション分野の最先端技術や知識を習得し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

特徴: 実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

**東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ特別コース」**

目的: サイバーセキュリティ分野の最先端技術や知識を習得し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

特徴: 実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

**明治大学「女性のためのスマートキャリアプログラム」(期間)**

目的: 女性のキャリアアップを支援し、実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

特徴: 実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

**名古屋大学大学院「マネジメント研究マネジメント専攻」**

目的: マネジメント分野の最先端技術や知識を習得し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

特徴: 実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

**高知大学「土佐フーズ・ビジネススクエア」**

目的: フード分野の最先端技術や知識を習得し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

特徴: 実践的・専門的な知識・技術・スキルを身につける。

働きながら仕事に必要な能力を向上させたい、再就職に当たって学び直したい、従業員の能力を向上させたい、教育効果を高めたい方

是非BPに認定された大学等のプログラムを積極的にご活用ください!

<図1 文部科学省パンフレット HPより>

## 2. 申請と認定後の流れ

|            |   |
|------------|---|
| 2015年9月17日 | プロジェクト立ち上げ 会議開催                               |
| 2016年5月12日 | 27年度申請と認定状況報告                                 |
| 2016年7月11日 | 28年度BP申請に関する募集開始                              |
| 8月9日       | 説明会2名出席（文部科学省旧庁舎6階）                           |
| 7月～9月      | 講師及び実習施設等への説明と内諾<br>運営会議及び研究科会議で報告            |
| 9月～10月     | 申請書類作成・起案承認 適宜ミーティング開催                        |
| 10月5日      | 申請書提出（以後、一部書類の修正提出）                           |
| 12月21日     | 認定結果の通知 会議報告                                  |
| 2017年2月9日  | ホームページに認定決定について掲載                             |
| 3月9日       | 広島県看護協会へ報告と協力依頼                               |
| 2月～3月      | 実習施設との契約完了<br>日程調整と広報開始<br>受講手続及び修了手続に関する書類作成 |
| 4月～5月      | 各講師への講師依頼<br>受講生募集と受講手続                       |

## 3. 授業科目の概要と内容

複雑かつ多様な高齢者、特に認知機能の低下のある方とその家族への高度な看護判断に基づいて適切な看護援助を実施・評価できる知識と技術が養う。特に、BPSD（心理症状）へのケア、及び認知症者とのコミュニケーション、多職種との連携に関する知識・技術を修得できるように科目を構成した。また、困難事例へのコンサルテーション技能の修得も目標として、7科目150時間の専門的科目を置いた。まずは高齢者の人体構造機能、認知症の病態と認知症の診断と治療により高齢者及び認知症の医学的知識を修得する。認知症看護概論、認知機能とアセスメントで認知症者に対する看護の対象への理解を深める。さらに認知症の看護各論1（コミュニケーション）、認知症の看護各論2（ケアマネジメント）で実践的知識と技術を深め、認知症看護実習で日常生活援助に必要な援助技術を修得し、看護職に対する役割モデルの能力を身につけられるようなプログラムとした。

申請したプログラムの授業科目とその概要は以下の通りである。

| 授業科目の概要について |                             |      |      |     |                 |       |    |                       |   |
|-------------|-----------------------------|------|------|-----|-----------------|-------|----|-----------------------|---|
| 学校名:        | 広島文化学園大学大学院看護学研究科看護学専攻      |      |      |     | 要件該当授業時数:       | 150時間 |    |                       |   |
| 課程名:        | 認知症看護エキスパート養成プログラム          |      |      |     | 要件該当授業時数/総授業時数: | 60%   |    |                       |   |
| 分類          | 科目名                         | 配当年次 | 授業時数 | 企業等 | 双方向             | 実務家   | 実地 | 担当教員・実務家名             | 教員・実務家の所属   |
| 必修          | 高齢者の人体構造機能<br>(フィジカルアセスメント) | 1    | 15   |     | ○               |       |    | 藤原 隆                  | 広島文化学園大学大学院<br>看護学研究科教授                                   |
| 必修          | 認知症の病態と<br>認知症の診断と治療        | 1    | 15   |     |                 | ○     |    | 谷向 知<br>(たにむかいさとし)    | 【医師】<br>愛媛大学大学院<br>医学系研究科教授<br>愛媛大学医学部付属病院<br>認知症疾患医療センター |
| 必修          | 認知症看護概論                     | 1    | 15   |     | ○               | ○     |    | 小野一恵<br>奥田 泰子         | 【認知症看護認定看護師】<br>JA吉田総合病院<br>【教員】<br>四国大学看護学部学部長           |
| 必修          | 認知機能とアセスメント                 | 1    | 15   |     | ○               | ○     |    | 小野一恵<br>川本雪江          | 【認知症看護認定看護師】<br>JA吉田総合病院<br>賀茂台地訪問看護ステーション                |
| 必修          | 認知症の看護各論1<br>(コミュニケーション)    | 1    | 15   |     | ○               |       |    | 河野保子                  | 【看護師】<br>広島文化学園大学大学院<br>看護学研究科教授                          |
| 必修          | 認知症の看護各論2<br>(ケアマネジメント)     | 1    | 30   |     | ○               |       | ○  | 加藤重子<br>讃井真理          | 【看護師】<br>広島文化学園大学大学院<br>看護学研究科教授<br>看護学研究科教授              |
| 必修          | 認知症看護実習                     | 1    | 45   | ○   | ○               | ○     | ○  | 今坂鈴江<br>風間 栄子<br>岡田京子 | 【看護師】<br>広島文化学園大学看護学部<br>准教授<br>助教<br>助教                  |
| 合計:         | 7科目                         |      |      |     |                 |       |    | 9単位:150時間             | 単位o時間   |

### 授業科目の概要

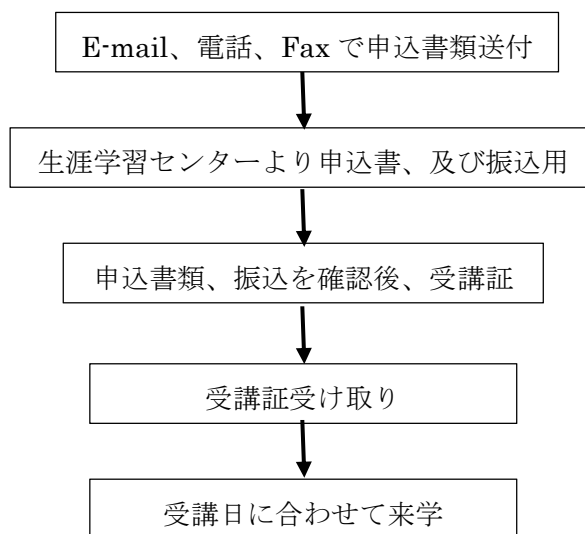
#### 広報と受講手続き

受講者の募集は、広島県看護協会、本学実習施設連絡会議、ハローワーク等において、パンフレットを配布する。本学ホームページ掲載等に掲載し受講者を募る。

受講手続きについては右図に示す。手続き等は本学事務で行うが、ホームページへの掲載方法、及び申し込み手続きの簡素化に向けて検討しているところである。

#### 4. 将来への展望

あらゆる健康段階における医療とケア




受講手続き


を提供する場では、認知症ケア関連について、多くの課題が存在している。今後、ますますケアニーズが高まることが予想される認知症看護に対し、本プログラムは認知症を患う当事者と、看護提供者自身の課題解決となるカリキュラムで構成した。受講者らが、本課程修了後に認知症ケアの現場において修得した知識と技術を活用し、より有効なケアを実践しながら、修了後にも共に学びえるような関係性の構築につながるプログラムの展開が必要である。認知症看護認定看護師の教育は 450 時間が必要とされる。中国地方での教育ニーズもあるにもかかわらず、現在のところ教育課程は存在しない。その点も視野に入れつつ、本過程では、認知症看護と福祉の質向上に貢献できるケア技術を習得し、現場で効果的に提供できる人材を育成していく。

なお、平成 29 年度実績によって、厚生労働省の専門実践教育訓練給付金等が利用可能なように事業展開する。専門実践教育訓練給付金を利用することによって、受講料の 40%（最大 60%）が受講者に還元される。このことによって、就業中の看護師だけでなく、潜在看護師の就業支援にも繋ぐことが可能である。さらに、現在、認知症ケアの質向上を目的とした認知症加算 1、2 の申請のための研修会への参加が各病院で促されているところである。本課程が加算対象のカリキュラムとして認められれば、認知症ケアの質向上に、福祉に、さらに貢献できる。

資料 作成したリーフレット



## 認知症看護エキスパート 養成プログラム



**期間：**平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月

**場所：**広島文化学園大学看護学部  
(広島県呉市阿賀南 2-10-3)

**内容：**認知症の疾病・治療・看護ケア  
(7 科目・150 時間)

開講日程の詳細は別途お知らせ

**人数：**20 名 (受け付け順)

**受講料：**67,000 円

**受講対象：**看護師免許をお持ちの方

**高齢者の人体構造機能**

- 藤原 隆 先生 1.5 時間

**認知症の疾患・治療**

- 谷向 知 先生 1.5 時間

**認知症看護概論**

- 奥田泰子先生 小野一恵先生 1.5 時間

**認知機能とアセスメント**

- 小野一恵先生 川本雪江先生 1.5 時間

**認知症の看護各論 I**

- 河野保子先生 1.5 時間

**認知症の看護各論 II**

- 本学教員 3.0 時間

**認知症看護実習**

- 認知症治療病棟 4.5 時間

= 受講手続き =

- ① 申込書の提出 (電子メール・郵送・Fax)  
(受講申込書は以下のホームページアドレスより取得可)
- ↓
- ② 本学より振込用紙を送付
- ↓
- ③ 入金確認後、本学より受講証等を発送 (5 月初旬)
- ↓
- ④ 日程に合わせて受講開始 (5 月中旬から 12 月を予定)

お問い合わせ：

広島文化学園大学大学院看護学研究科 〒737-0004 広島県呉市阿賀南 2-10-3 ☎0823-74-6000

Email アドレス: niwa@hbg.ac.jp URL : http://www.hbg.ac.jp/univ/nurse/index.html

このような方は、ぜひ参加を！  
認知症ケアの技術を習得したい  
あるいは技術を向上させたい  
再就職に役立てたい